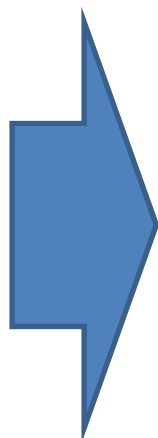


令和7年度工学部学校推薦型選抜I型の変更点について

1 出願要件の変更について

現行の出願要件①のみを出願要件として残し、出願要件②～⑤を削除します。出願要件①の内容について変更はありません。現行の学校推薦型選抜I型の出願要件②～⑤の定員を総合型選抜へ移動することに伴い、残った出願要件①の記載をわかりやすく直しました。(詳細は「令和7年度工学部特別選抜における定員の移動について」をご覧ください。)

変更前 (令和6年度まで)		
・出願の要件 次表に示す出願要件①から出願要件⑤のいずれかに該当する者。 出願要件②、出願要件③、出願要件④及び出願要件⑤においては、当該出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。		
出願要件	主専攻プログラム	学校推薦型選抜の対象となる者
出願要件①	機械システム工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	社会基盤工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	電子情報通信プログラム	工業及び情報に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	知能情報システムプログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	化学システム工学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	材料科学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	建築学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	人間支援感性科学プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	協創経営プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
出願要件②	全ての主専攻プログラム	SIIカリキュラムを受講した者で、下記のいずれかもしくは両方を満たしたものの ・SSHの指定を受けている高等学校又は中等教育学校において研究又は実験を行ったことのある者 ・大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究又は実験を行ったことのある者
出願要件③	全ての主専攻プログラム	科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者
出願要件④	人間支援感性科学プログラム	・優れた造形芸術の能力をもつ者 ・優れた音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者 ・優れたスポーツの技能を有する者
出願要件⑤	全ての主専攻プログラム	高等学校等の内外において主体的に活動(課題研究、総合学習、課外活動、コンテスト、コンクール等)を行った者



変更後 (令和7年度から)		
・出願の要件 次表に示す出願要件に該当する者。		
出願要件	主専攻プログラム	学校推薦型選抜の対象となる者
出願要件	機械システム工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	社会基盤工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	電子情報通信プログラム	工業及び情報に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	知能情報システムプログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	化学システム工学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	材料科学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	建築学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	人間支援感性科学プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕
	協創経営プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者〔学科の指定なし〕

2 募集人員の変更について

学校推薦型選抜 I 型の募集人員を工学部全体で 55 名から 30 名減員し、25 名とします。現行の学校推薦型選抜 I 型の出願要件②～⑤の定員を総合型選抜へ移動することに伴い、残った出願要件①に関して、各主専攻プログラムにおける募集人員の目安を示しました。（詳細は、「令和 7 年度工学部特別選抜における定員の移動について」をご覧ください。）

変更前（令和 6 年度まで）		
学科	主専攻プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム	7 人
	社会基盤工学プログラム	4 人
	電子情報通信プログラム	7 人
	知能情報システムプログラム	7 人
	化学システム工学プログラム	7 人
	材料科学プログラム	4 人
	建築学プログラム	3 人
	人間支援感性科学プログラム	14 人
	協創経営プログラム	2 人
合 計		55 人



変更後（令和 7 年度から）		
学科	主専攻プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム	4 人
	社会基盤工学プログラム	2 人
	電子情報通信プログラム	4 人
	知能情報システムプログラム	3 人
	化学システム工学プログラム	4 人
	材料科学プログラム	2 人
	建築学プログラム	2 人
	人間支援感性科学プログラム	2 人
	協創経営プログラム	2 人
合 計		25 人

3 選抜方法の変更について

現行では面接の中で課していた基礎学力に関する試験の形式を、より客観的な評価を可能とするため、筆記試験形式に変更します。筆記試験の科目を工学部共通で「数学」とし、出題範囲を工学部共通で「数学 I, 数学 II, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率)」とします。幅広い受験生が専門分野への興味に応じた主専攻プログラムに出願しやすい選抜方法とするため、筆記試験の科目および出題範囲を工学部共通としました。また、面接においては勉強意欲についても評価するとともに合格者へ入学前課題を課すことから、学校推薦型選抜の主旨を鑑み、出題範囲を基礎的な範囲としました。さらに、従来は口頭試問を含む面接と書類審査に区分していた配点を、筆記試験形式への変更に伴い、基礎学力試験、面接、書類審査の3区分とするため、配点について見直しました。

変更前 (令和6年度まで)			
① 選抜方法 大学入学共通テストを免除し、 口頭試問を含む面接(出願要件④で出願した者は、作品等も含む。) での評価及び調査書等の内容を総合して行います。			
② 配点			
主専攻プログラム	面接	書類審査	合計
全ての主専攻プログラム	140	60	200
③ 口頭試問の内容			
・出願要件①による志願者に係る口頭試問の内容			
主専攻プログラム	口頭試問の内容 (基礎的な学力を試問する教科・科目)		
機械システム工学プログラム	数学, 工業(設計製図)		
社会基盤工学プログラム	工業(土木)		
電子情報通信プログラム	工業(電気基礎)		
知能情報システムプログラム	数学, 英語		
化学システム工学プログラム	化学, 英語		
材料科学プログラム	数学, 英語		
建築学プログラム	工業(建築)		
人間支援感性科学プログラム	数学, 英語		
協創経営プログラム	数学, 英語		



変更後 (令和7年度から)				
① 選抜方法 大学入学共通テストを免除し、 基礎学力試験 , 面接での評価及び調査書等の内容を総合して行います。				
② 配点				
主専攻プログラム	基礎学力試験	面接	書類審査	合計
全ての主専攻プログラム	100	70	30	200
③ 基礎学力試験の内容				
主専攻プログラム	筆記試験の内容			
全ての主専攻プログラム	数学			